

# 厚生労働科学研究 地域・職域連携推進研究班 ワークショップ実施要項

(案)

## 1. 目的

令和6年度より始まりました健康日本21（第三次）には「地域・職域連携推進協議会等を活用して健康格差の縮小に取り組む」ことが示されており、「地域・職域連携推進協議会の効果的な運営」が一層求められるようになってきました。令和7年度厚生労働科学研究「健康寿命延伸につながる地域・職域連携の推進のための研究」では、自治体へのアンケート、ワークショップ等を通して、現状を把握、課題を整理し、解決策を提案していきます。

昨年度に引き続き、研究班では、働く世代への健康支援を実施する自治体ならびに関係者を対象としたワークショップを企画しました。第1部（座学）、第2部（グループワーク）の2部構成としています。本ワークショップにより、よりよい地域・職域連携事業につなげていただくことを目的とします。

## 2. 対象

全国の都道府県・二次医療圏、市区町村の地域・職域連携ご担当者

（都道府県、二次医療圏（都道府県型保健所、保健所設置市区）、市区町村）

医療保険者（国保、国保組合、全国健康保険協会、健康保険組合、共済組合等）、産業保健関係者（産業保健総合支援センター、地域産業保健センター、労働基準監督署、事業場等）、医師会等、その他地域・職域連携に関係している者

募集人数（回線の制約のため、希望者多数の場合人数を調整させていただくことがあります）

第1部（座学） 200回線程度を予定

第2部（グループワーク） 80回線を上限

## 3. 方法

Zoomを用いたonline形式

（第1部座学・チャット機能にて質疑応答、第2部ブレイクアウトルームにてグループワーク）

ワークショップ事後アンケートにご協力ください（参加決定者にご連絡いたします）。

## 4. 日時

12月22日（月） 10:00～15:00

## 5. 申し込み方法

※12月11日（木）までにWeb上の申し込みフォームにてお申し込みください。

URL: <https://forms.office.com/r/QAt1Wk2DZZ>

※尚、参加が決定した方へはZoomの参加URLを追ってご連絡いたします。

（12月16日以降を予定しております。）

※第2部につきましては、募集人数に達しましたら、募集を締め切らせていただく場合がございます。ご了承ください。

## 6. お問い合わせ先

令和7年度厚生労働科学研究費補助金「健康寿命延伸につながる地域・職域連携の推進のための研究」

研究代表者 女子栄養大学 教授 津下 一代

研究班事務局：女子栄養大学 臨床医学研究室（事務担当：栗原、細田）

TEL&FAX 049-282-3717 E-Mail: [kenko@ktsushita.com](mailto:kenko@ktsushita.com)（火・水・木・金）

## 7. ワークショップ・プログラム（案）（令和7年度版）

| 時間    | 内 容                                                                                                                                 |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|       | (第1部)                                                                                                                               |
| 10:00 | ご挨拶（厚生労働省保健指導室）                                                                                                                     |
| 10:05 | 健康日本21（第三次）における地域・職域連携の位置づけと進め方<br>本研究班の取り組み（研究代表：津下）                                                                               |
| 10:20 | 全国の担当者アンケート結果について（都筑）                                                                                                               |
| 10:35 | 地域・職域連携のための健康課題分析：産業構造（横山）                                                                                                          |
| 10:50 | 事例①：大分県豊肥保健所<br>事例②：大分県竹田市<br>テーマの進行・まとめ（都筑）                                                                                        |
| 11:20 | 事例①：新潟県三条市<br>事例②：（調整中）<br>テーマの進行・まとめ（渡井）                                                                                           |
| 11:50 | 質疑・コメント                                                                                                                             |
| 12:00 | 昼休み                                                                                                                                 |
|       | (第2部)                                                                                                                               |
| 13:00 | グループワーク 進め方の説明、ブレイクアウトルームへ                                                                                                          |
|       | グループワーク<br>テーマ<br>① 地域・職域連携推進の現状と課題・工夫<br>② 健康課題把握のための収集と活用<br>③ 市区町村と県・二次医療圏との連携や支援体制、協議会の活用<br>※ファシリテーターの先生方と一緒にディスカッションしていただきます。 |
|       | グループ討議の内容を全体で共有、質疑応答                                                                                                                |
| 15:00 | アンケート記入                                                                                                                             |

※一部、内容に変更がある場合がございます。

### 【研究班メンバー】

研究代表者：津下 一代 女子栄養大学・教授  
 研究分担者：都筑 千景 大阪公立大学大学院看護学研究科・教授  
 横山 徹爾 国立保健医療科学院 生涯健康研究部・特任研究官  
 渡井いずみ 浜松医科大学医学部看護学科・教授  
 尾崎 伊都子 名古屋市立大学・大学院 看護学研究科・准教授